

令和3年度

主要な施策の成果に関する説明書

鳥栖・三養基西部環境施設組合

令和3年度主要な施策の成果に関する説明書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定に基づく令和2年度決算に係る主要な施策とその成果について次のとおり報告する。

令和4年8月24日

鳥栖・三養基西部環境施設組合
管理者 岡 毅

目 次

1 決算の概要

(1) 総括	1
(2) 収支の状況	1
(3) 歳入の状況	1
(4) 歳出の状況	2

2 主要事業の成果

(1) ごみ処理	3
(2) 環境情報	6
(3) 啓発事業	7

1 決算の概要

(1) 総括

歳入は、収入額 15 億 1,570 万 1 千円で、前年度から 3,203 万 4 千円 (2.2%) 増となり、歳出も、支出額 14 億 8,596 万 8 千円で、前年度から 5,149 万 7 千円 (3.6%) 増となった。

歳入では、手数料の改定に伴うごみ処理手数料収入の増加と売渡価格の上昇による有価資源物売払金の増加が見られた。また、「九州・山口 9 件における災害廃棄物等に係る相互支援協定」に基づき、長崎県大村市及び佐賀県大町町より災害ごみの受入を行った。

歳出では、用役費の増に伴う溶融施設運転管理業務委託料の増加、さらにリサイクルプラザ運転管理委託料及びプラントの光熱水費の増加が見られた。

(2) 収支の状況

歳入総額 15 億 1,570 万 1 千円から、歳出総額 14 億 8,596 万 8 千円を差し引いた歳入歳出差引額は 2,973 万 3 千円となり、実質収支額も同額となっている。

今年度実質収支額から前年度実質収支額 4,919 万 6 千円 (前年度決算剰余金) を差し引いた単年度収支は、1,946 万 3 千円の赤字となった。

・歳入歳出収支状況

(単位：千円)

	歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支
令和 3 年度	1,515,701	1,485,968	29,733	0	29,733
令和 2 年度	1,483,667	1,434,471	49,196	0	49,196
増減	32,034	51,497	▲19,463	0	▲19,463

(3) 歳入の状況

(単位：千円)

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度		増減 (A)-(B) (C)	対前年度 増減率(%) (C)/(B)
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比		
分担金及び負担金	1,182,596	78.0%	1,194,435	80.5%	▲11,839	▲1.0%
使用料及び手数料	167,596	11.0%	160,262	10.8%	7,334	4.6%
財産収入	413	0.0%	372	0.0%	41	11.0%
繰入金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
繰越金	49,196	3.3%	37,258	2.5%	11,938	32.0%
諸収入	115,900	7.7%	91,340	6.2%	24,560	26.9%
歳入合計	1,515,701	100.0%	1,483,667	100.0%	32,034	2.2%

・構成市町別負担金一覧

(単位：千円)

区 分		解体準備費	管理運営費	計
鳥栖市	令和3年度	45,220	741,088	786,308
	令和2年度	45,072	750,355	795,427
	増減	148	▲9,267	▲9,119
上峰町	令和3年度	7,701	120,279	127,980
	令和2年度	7,775	121,985	129,760
	増減	▲74	▲1,706	▲1,780
みやき町	令和3年度	17,079	251,229	268,308
	令和2年度	17,153	252,095	269,248
	増減	▲74	▲866	▲940
合計	令和3年度	70,000	1,112,596	1,182,596
	令和2年度	70,000	1,124,435	1,194,435
	増減	0	▲11,839	▲11,839

・ごみ処理手数料

(単位：千円)

	鳥栖市	上峰町	みやき町	計
令和3年度	125,051	11,089	31,456	167,596
令和2年度	123,152	9,981	27,129	160,262
増 減	1,899	1,108	4,327	7,334

・資源化物の売払い額

(単位：千円)

	スラグ メタル	金属類	古紙類	Pボトル (容り協含)	小型家電	びん類外	合 計
令和3年度	2,030	41,104	7,933	5,478	1,005	955	58,505
令和2年度	2,397	19,155	5,315	4,573	1,197	659	33,296
増 減	▲367	21,949	2,618	905	▲192	296	25,209

(4) 歳出の状況

(単位：千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		増減 (A)-(B) (C)	対前年度 増減率(%) (C)/(B)
	決算額 (A)	構成比	算額 (B)	構成比		
議会費	276	0.0%	284	0.0%	▲8	▲2.8%
総務費	172,391	11.6%	169,962	11.9%	2,429	1.4%
衛生費	1,313,301	88.4%	1,264,225	88.1%	49,076	3.9%
公債費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
予備費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
歳出合計	1,485,968	100.0%	1,434,471	100.0%	51,497	3.6%

2 主要事業の成果

(1) ごみ処理

令和3年度のごみ搬入量は、総計3万4,722トンで、前年度比較472トン（1.4%）の減少となった。種類別にみると、可燃ごみは129トン（0.5%）の減少、粗大・不燃ごみは330トン（7.7%）の減少、資源ごみは13トン（0.7%）の減少となり、市町の割合は、鳥栖市71%、上峰町8%、みやき町21%となり、ごみ搬入量を1人1日当たりの量に換算すれば、鳥栖市が905グラム、上峰町が758グラム、みやき町が755グラムとなった。

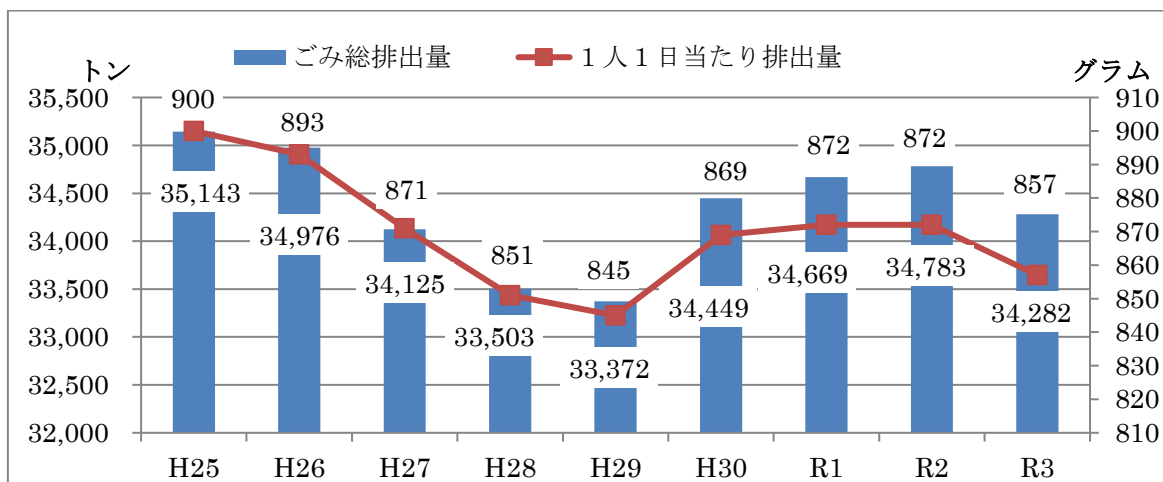
また、長崎県大村市より環境センター火災事故による災害廃棄物261トン及び大町町より豪雨災害による災害廃棄物179トンを災害応援協定に基づき受け入れた。

・ごみ搬入量

（単位：トン、人）

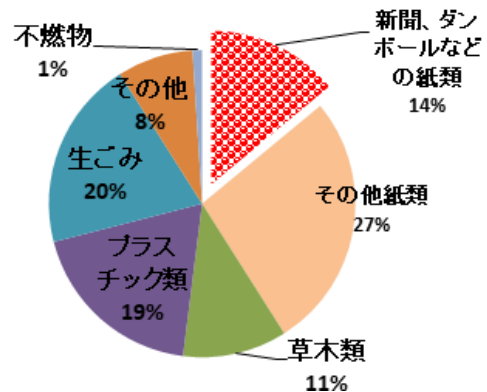
		可燃ごみ	粗大不燃ごみ	資源ごみ	計	人口 (10.1)
鳥 栖 市	令和3年度	20,631.53	2,488.57	1,355.56	24,475.66	74,063
	令和2年度	20,918.27	2,622.85	1,365.10	24,906.22	73,915
	増減	▲286.74	▲134.28	▲9.54	▲430.56	148
上 峰 町	令和3年度	2,059.87	458.26	173.81	2,691.94	9,727
	令和2年度	2,012.41	501.15	172.15	2,685.71	9,623
	増減	47.46	▲42.89	1.66	6.23	104
みやき町	令和3年度	5,371.47	1,363.02	379.56	7,114.05	25,818
	令和2年度	5,290.38	1,515.89	384.45	7,190.72	25,714
	増減	81.09	▲152.87	▲4.89	▲76.67	104
災害ごみ	令和3年度	440.69	(大村市261、大町町179)		440.69	
	令和2年度	411.60	(熊本県芦北町)		411.60	
	増減	29.09			29.09	
合計	令和3年度	28,503.56	4,309.85	1,908.93	34,722.34	109,608
	令和2年度	28,632.66	4,639.89	1,921.70	35,194.25	109,252
	増減	▲129.10	▲330.04	▲12.77	▲471.91	356

・ごみ搬入量の推移（災害ごみ除く）



・可燃ごみの分類

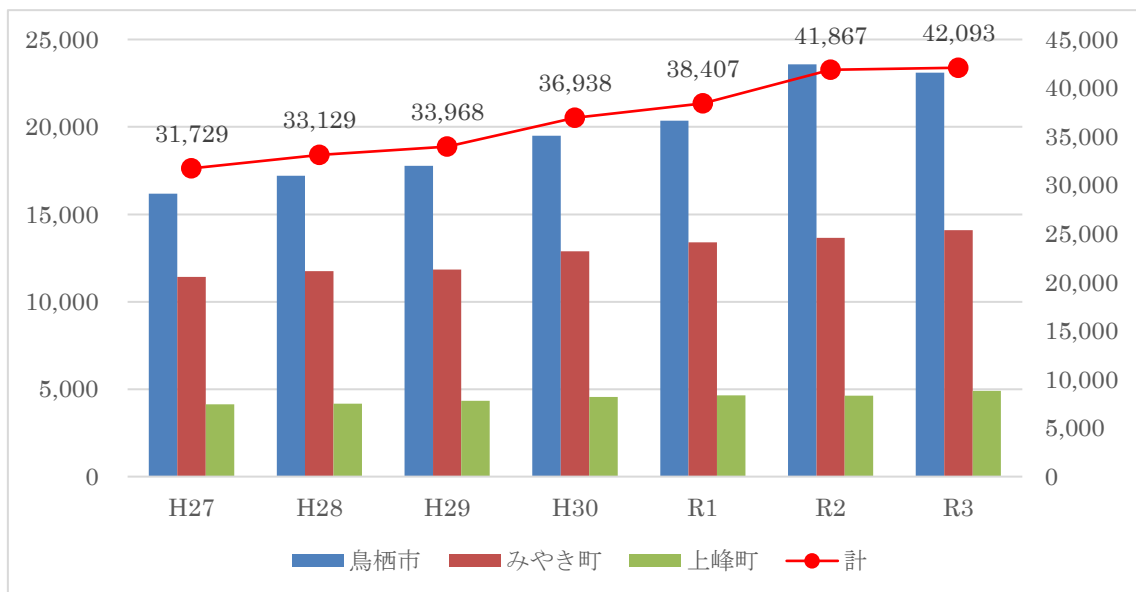
可燃ごみを分類すると、紙類が41%、プラスチック類19%、生ごみ20%、草木類11%であった。また、紙類のうち、資源化回収の対象となっている新聞、ダンボール類が14%含まれ、重量にすると4,000トン程度となる。



焼却処分の中になんかの資源ごみが潜在していることから、更なる資源化分別を進める余地がある。

生ごみは、前年度からは若干増加しており、依然として可燃ごみ中の水分は40%を占めている。食品ロスの問題もあり、引き続き「使い切り」、「食べ切り」、「水切り」を推進していく必要がある。

・リサイクルプラザ直接搬入台数の推移（単位：台）



令和3年度は、年間42,093台（前年比226台増）で微増傾向にあった。特に年末12月28日、29日、30日の3日間は、延べ948台の搬入があった。また、1日あたりの搬入台数では祝日受付の導入により130台となり若干の減少傾向にあった。

・ごみ処理の状況

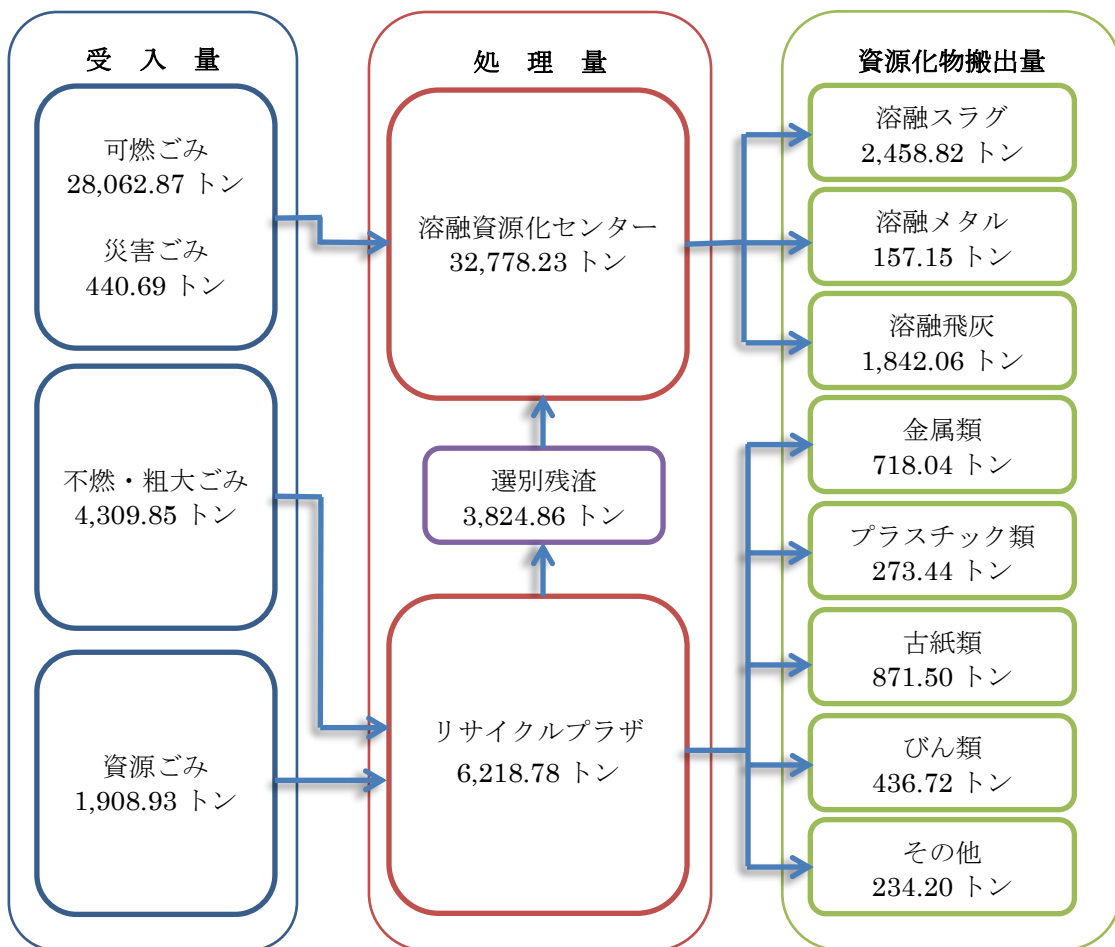
可燃ごみの処理（溶融資源化センター）

32,778 トンを溶融施設で溶融処理し、溶融スラグ 2,459 トン（7.50%）、溶融メタル 157 トン（0.48%）を資源化した。溶融飛灰 1,842 トン（5.62%）は山元還元やセメント化、および埋立による処理を行った。

不燃・粗大ごみ、資源ごみの処理（リサイクルプラザ）

不燃・粗大ごみ 4,310 トン、資源ごみ 1,909 トンを選別処理し 2,534 トン（41%）を資源化物として搬出した。

・ごみ処理フロー



(2) 環境情報

・排ガス測定結果

区 分	測定日		排出基準 (協定値)
	R3. 6. 9	R4. 1. 18	
ばいじん (g/m ³ N)	0.003	0.004	0.01
硫黄酸化物(ppm)	22	32	50
窒素酸化物(ppm)	18	32	100
塩化水素(ppm)	0.3 未満	2.0	50
一酸化炭素(ppm)	5	11	30
ダイオキシン類(ng-TEQ/m ³)	0	0.000065	0.1
総水銀 (μg/m ³)	22	32	50

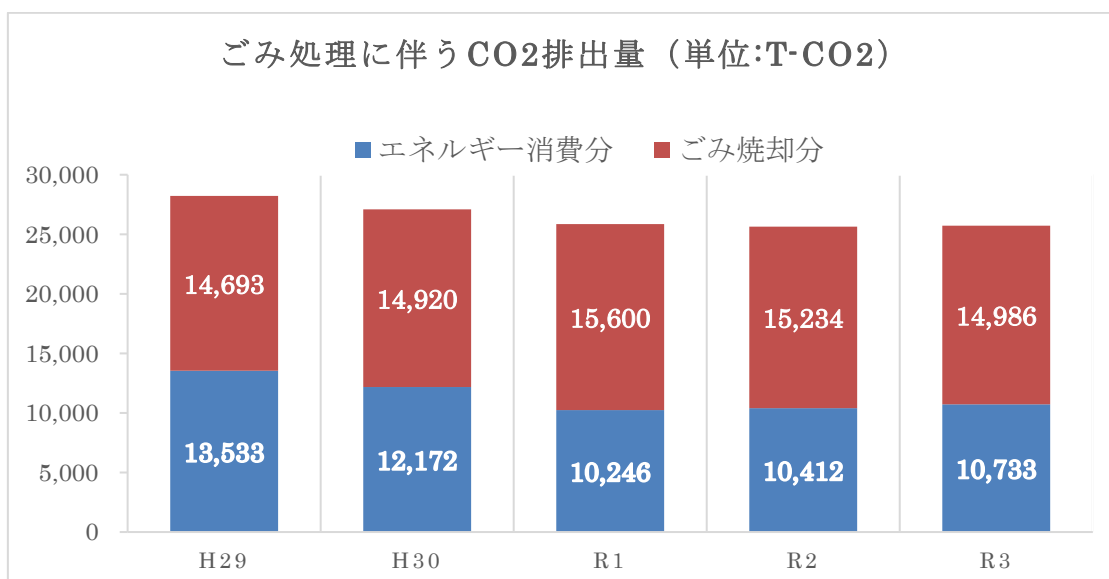
・周辺環境ダイオキシン類調査結果

区 分	測定結果	基準値	測定日
大気 (p g-TEQ/m ³)	0.016、0.017	0.6	R4. 1. 13~19
底質土壌 (p g-TEQ/g)	61	150	R3. 10. 25
一般土壌 (p g-TEQ/g)	1.7	1,000	R3. 7. 14
水質 (p g-TEQ/l)	0.32	1	R3. 10. 25

・温暖化対策

ごみ処理に伴う二酸化炭素の排出量は、年間 25,719 トン-CO₂ であった。

施設内の消費電力削減に努めた結果、年間の二酸化炭素発生量は 73 t-CO₂ の微増で横ばい傾向であった。引き続き消費エネルギーの削減とごみ減量化に取り組む必要がある。



(3) 啓発事業

・リサイクルプラザ利用状況（年間延べ利用者数）

視察研修	イベント参加	研修室借用	宿泊研修	エコライフ講座
976名	2,198名	45名	0名	0名

施設見学を通して環境学習に小学生 916 名が参加した。環境学習では、施設の紹介と合わせて、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の 3 つの R でごみ減量化やリサイクル推進への啓発活動を行った。

環境イベントとして、毎月 1 日～12 日の間に再生家具や再生自転車の展示販売を行う「もったいなか市」を開催した。

また、ホテル時期のホテル公園でのホテル観賞、そして環境美化活動として実施した、風の広場のひまわり花壇や、菊づくり教室の菊花展には多くの来場者があった。

○もったいなか市



○ホテル公園



○小学校視察



○周辺環境美化活動（菊花展）

